

登録コード	A3593313	開講年度	2026				
授業科目	専攻演習				担当教員	山田 明義	
英文授業名	Selected Seminar						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				研究活動に必要な専門的実験手法について学び，それらについて説明できる．		
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				研究活動に必要な専門的実験手法について学び，それら自分で実験できる．		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				研究活動に必要な専門的実験手法を体得し，実験データを収集することができる．		
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				研究活動に必要な専門的実験手法を体得し，収集した実験データをについて学術的観点から考察できる．		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	この授業では，実験操作（野外調査を含む）のデータ分析を中心に学びます．また，専門分野の学修では，英文の専門書と論文の内容を中心に解説します．教科書は指定しませんが，適宜プリントを配布します．						
(5)授業計画	10-11月：野外調査，培養操作のデータ分析 12-1月：DNA分析，顕微鏡操作のデータ分析 2月：データ分析のまとめ 期末試験の期間内に授業アンケートを実施．						
(6)自主学習の指針	各実験操作の前後に行うディスカッションを踏まえて，関連事項についての積極的な自主学習に励んでください．						
(7)成績評価の基準	秀：授業の達成目標水準から見て卓越している． 優：授業の達成目標水準よりかなり上にある． 良：授業の達成目標水準よりやや上にある． 可：授業の達成目標水準にある． 不可： 授業の達成目標水準にない．						
(8)事前事後学習の内容	各実験操作の前後に行うディスカッションでの資料作成．						
(9)テストやレポートの予定	事前事後学習で作成する研究資料で対応します．						
(10)成績評価の方法	事前事後学習で作成する研究資料の内容で評価します．						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時，口頭またはメール等で対応します．						
(12)履修上の注意	特になし						
【教科書】	指定しない．						
【参考書】	現代菌類学大鑑（堀越孝雄ほか訳），共立出版 The Fungi, 3rd edn. (S.A. Watkinson, L. Boddy, N.P. Money 著), Academic Press Mycorrhizal Symbiosis, 3rd edn. (S.E.Smith, D.J.Read 著) Academic Press						